

国際経営論

－多国籍企業における多様性のマネジメント及び社会的課題の解決－

担当者氏名：金網 基志
(研究室番号：Q5011)

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

多国籍企業は、海外の異質な文化、慣習、制度の中で事業を行っています。この異質性を、販売市場として見た場合には、顧客ニーズの多様性ということになりますし、労働力市場として見た場合には、働く人材の多様性ということになります。もちろん、国内においても、20代と50代の顧客ニーズは異なりますし、性別や地域によってもニーズは異なります。しかしながら、海外における多様性とは、国内だけで事業を行っていたのでは気づくことのできないものです。そうした多様性のために、海外では、異文化でのコミュニケーションや進出先のカントリーリスクなど国内事業とは異なる課題を生じさせることとなります。言語、宗教、社会的規範の異なる人々とコミュニケーションを行うことは容易ではありませんし、海外では国内では生じえないようなトラブルが発生します。

一方で、海外には国内にはない様々な資源や知識が存在しています。それらを国内で蓄積してきた資源とうまく結合できれば、国内のみで事業を行う企業が生み出しえないような資源や知識を獲得することが可能となります。つまり、多国籍企業が行う海外事業には、多くの課題がある一方で、多くのチャンスもあるのです。

また、多国籍企業は、貧困や環境問題といった様々な社会的課題を解決する主体でもあります。例えば、スイスの多国籍企業であるネスレは、貧困国のコーヒー豆農家に対する農作業の改善促進や農村開発の支援を行うことで、現地の貧困問題の解決に取り組んでいます。こうした活動は、ネスレの原材料の安定的な調達を可能にする点で、ネスレの経済的価値を高めるものともなっています。

本プロジェクトは、こうした多国籍企業に焦点を当てながら、その課題や優位性を活用するためにどのような政策が必要となるのか、また多国籍企業の活動が社会にどのようなインパクトを与えているのかについて探っていくことをテーマとしていきます。

2. プロジェクト研究の進め方

3年生では、まずテキストを輪読します。報告者による発表の後、グループに分かれて各章ごとに提示されている課題についてのディスカッションを行います。テキストは、2021年度は、林倬史著『新興国市場の特質と新たなBOP戦略』文真堂、2022年度は、吉原英樹著『国際経営（第5版）』有斐閣アルマ、2023年度は関口倫紀他編『国際人的資源管理（ベーシック+）』中央経済社を使用しました。5月からは、国際ビジネス研究インターカレッジ大会（通称「IB インカレ」）への論文提出と発表の準備に入ります。2ないし3グループに分かれてそれぞれのグループごとにテーマを決めて研究を行い、成果を12月の大会で発表します。4年生では、卒業論文作成に向けての中間報告とディスカッションを中心に行っていきます。

IB インカレのサイトは以下です。



<http://ibintercollege.org/>

- 1) 3年生（プロジェクト研究Ⅰ、総合演習、プロジェクト研究Ⅱ、プロジェクト研究Ⅲ）
第1クォーター：テキストの輪読、PPTを利用した報告とグループでのディスカ

セッション

IB インカレでの研究発表準備

第2クォーター：IB インカレでの研究発表準備

第3クォーター：IB インカレでの研究発表準備と論文執筆

第4クォーター：IB インカレでの研究発表準備と論文執筆、研究発表

2) 4年生（プロジェクト研究Ⅳ、プロジェクト研究Ⅴ、プロジェクト研究Ⅵ、プロジェクト研究Ⅶ）

第1クォーター：個人ごとに卒業論文のテーマ、アウトラインの決定、資料・データ収集、調査、中間報告など

第2クォーター：卒業論文に関する資料・データ収集、調査、中間報告など

第3クォーター：卒業論文に関する資料・データ収集、調査、中間報告、卒論執筆など

第4クォーター：卒業論文に関する資料・データ収集、調査、中間報告、卒論執筆など

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

- ・原則として3年次第2クォーターに開講される総合演習B（担当：金綱）を履修して下さい。（短期留学のため履修困難な場合は相談して下さい。）
- ・経営学関連の科目の受講は、ゼミ参加の前提とはしていません。以下の科目を履修すると、ゼミでの研究活動の参考になります。「経営学概論」「現代企業論」「国際経営戦略論」「政治・経済の諸相3」「組織行動論」「人的資源管理論」
- ・このプロジェクトを希望する場合には、国際、公共、環境のいずれのコースを履修しても構いません（本プロジェクト担当教員は公共コースに所属）。

4. プロジェクト研究開始までの準備

予備登録決定者には使用するテキストをお伝えします。

5. その他

グループでの共同研究やディスカッションを積極的に行える学生を歓迎します。

12月に開催される「国際ビジネス研究インターカレッジ大会」（通称「IB インカレ」）は全員参加を原則とします。

大学とは答えのない問いの答えを、仲間と議論しながら見つけ出していく場です。学ぶことを通じて生涯の友をつくってほしいと思います。

6. 選考方法

学部所定の志望理由書と面接で決定します。面接の日時は、メールで連絡します。